



くらす たのしむ

将来の家庭生活の
充実を目指して



新潟県立村上特別支援学校 寄宿舎

令和6年度 寄宿舎パンフレット

はじめに

～寄宿舎の役割～

本校寄宿舎は、児童生徒の通学保障や生活力の向上を目的として、現在及び将来の家庭生活の充実につながる指導・支援を行っています。

育てたい3つの柱

1

基本的な生活習慣

掃除、洗濯など自分の身の回りに関する日常生活の基本的な技能や態度

2

コミュニケーション

集団生活において他者との関わりを通して、他者の話を聞いたり、自分の意思を伝えたりする力

3

社会参加、余暇

家庭や地域において、自分で楽しみを見つけて、生活を豊かにしていく力

一人一人に応じた支援

個別活動

グループ活動

全体活動

これら3つの活動を効果的に取り入れながら、一人一人に応じた支援を行い、「くらす」「たのしむ」の充実を目指していきます。

3つの活動の紹介

個別活動



掃除・洗濯

学習

グループ活動



外出活動



放課後活動



自立宿泊体験



全体活動



ひまわり祭



お別れ会



クリスマス会



避難訓練

入舎を検討している方へ

入舎理由について

以下の3つのいずれかを入舎理由として、受け入れを行っています。

- 遠距離
(自宅から学校までの距離がおおむね30km以上、公共交通機関がない等)
- 生活力や社会性を高めるため (中・高等部生徒対象)
- 家庭の事情 (要相談)

入舎条件について

入舎を希望するにあたっては、以下の内容に当てはまるかどうかをご確認ください。

	本人、保護者ともに入舎を希望しています
	集団生活において、常にマンツーマン対応の必要はありません
	医療的ケアの必要がありません
	てんかん等の発作がありますが、服薬等により状態が落ち着いています
	きざみ等の二次調理をせずに食事を摂ることができ、誤飲誤嚥の危険がありません
	24:00～6:00の夜間や早朝に、特別な支援は必要ありません
	体調不良や事故などの救急時は、保護者が夜間でも迎えに来ることができます

宿泊数・宿泊曜日について

- **宿泊数** : 全泊（月～木泊）または週2日以上を原則としています。
ただし、週2泊以上の宿泊を目指すために、舎生の実態に応じて「間食まで」「夕食まで」「週1泊から」と段階的な利用も可能です。
- **宿泊曜日** : 原則固定とさせていただきます。
曜日は本人、保護者、寄宿舍で相談して決定します。

職員体制について

- 1日あたり4～5人の職員と舎監(学校職員)1人で宿直勤務を行います。
- 看護師などの医療スタッフは配置されていません。
体調不良や怪我などが生じた場合は、保護者連絡を行い、迎えにきていただきます。

経費について(R6年度)

- 毎月（年10回）、以下の費用が加算されて口座引落としとなります。
年度によって若干金額が異なる場合があります。

	舎食費	間食費	寄宿舍費	寝具費
小学部	12,000 ※1	2,800 ※2	1,500	1,800 ※3
中学部	13,000 ※1			
高等部				

※1 週2泊相当(週4食まで)の利用の場合は、それぞれ半額（小学部6,000円、中高等部6,500円）になります。

※2 週2泊相当（週2回まで）の利用の場合は、半額の1,400円です。

※3 寝具費は寝具リースを利用の方のみ該当

- 欠席した場合の返金について
 - ・ 間食費、舎食費は、届出日を含んだ3日後から、5日以上連続する場合に返金いたします。
 - ・ 寄宿舍費、寝具費は、1か月全て利用がなかった場合に返金いたします。

入舎が決定した方へ

舎生の持ち物について

- 寄宿舍の生活に必要な物については、入舎が決定した際に別紙にて詳細をお知らせします。
- 余暇時間などで使用するゲーム機などの電子機器や貴重品類を持参する場合は、使用可能な時間帯以外は、寄宿舍の職員に預けてもらいます。
- 持ち物には必ず記名をしてください。

※入舎が決定した際に、別紙にて詳細をお知らせします。

処方薬の準備について

- 処方薬（内服薬・塗布薬等）がある場合は、1回で使用する薬をひとまとめにして名前を書き、帰省時までの分量を寄宿舍へ持参してください。
- 内服薬については、災害時用薬として3日分を寄宿舍にお預けください。
- 市販薬については、お預かりしていません。

※入舎が決定した際に、別紙にて詳細をお知らせします。

保護者の送迎について

- 帰舎日・帰省日の送迎は、学校の登下校時刻に合わせるようお願いします。
- 寄宿舍に来舎の際は、外来者ファイルの記帳とネームホルダーの着用をお願いします。
- 寄宿舍周辺の駐車場に車を止める際は、エンジンを止めて、サイドブレーキをかけ、ドアをロックしてください。
- 学校で単独通学の手続きが済んでいる舎生は、単独での帰舎・帰省も可能です。

寄宿舎 Q & A

Q. 本校に在籍していれば寄宿舎に入ることができますか？

A. 本校の児童生徒が対象です。

お子さんによっては心理的負担が大きい方もいらっしゃいます。入舎にあたっては、いくつかの基準もあります。通学距離の問題や家庭事情がある場合は、まずはご相談ください。

Q. 舎室はどのように決まりますか？

A. 舎生の実態や特性に考慮し、
ひと部屋あたり3人前後の部屋割りをしています。

舎生一人一人の実態や特性があるため、おたがいに助け合ったり高め合ったりできるように部屋割りをしています。

Q. お風呂は何時に入りますか？

A. 日課の中に入浴時間が設定されています。

夕方の時間を中心に、複数名で入浴をしています。また入浴の際には、職員が必要な支援を行っています。

寄宿舎は集団で生活をする場ですので、入浴だけでなく、起床・就寝・食事など、日課に沿って生活をしてもらっています。

Q. 洗濯はどのように行いますか？

A. 生活力の向上を目指して、できることは自分で行います。

洗濯物を干したり、乾いた衣類を収納したり、洗濯の一連の作業はできるだけ自分で行います。洗濯以外にも、布団の敷き上げや清掃など、身の回りのことは自分で行い、日常生活の基本的な力を身につけられるように支援します。難しい場合には、職員が支援します。

Q. 寄宿舍はいつでも利用できますか？

A. 学校に合わせて土日祝日を除く平日の利用ができます。
利用日程は、前月の中旬までにご家庭と確認しています。

【寄宿舍を利用できない日】

- 土日祝日 およびその前日
- 学校を欠席した日
- 長期休業など学校がお休みの日
- もともと寄宿舍の利用予定ではない日
- 体調不良で学校を早退した日

※ 宿泊した翌日は、寄宿舍から学校に登校することを基本としています。
通院等の予定があり寄宿舍から学校に登校しない場合は、その前日は宿泊できません。
その際のお迎えの時間に関しては、ご相談ください。

Q. 学校や寄宿舍から保護者の迎えで通院や外出した後、寄宿舍を利用することはできますか？

A. 舎生が学校や寄宿舍から
保護者の送迎で通院、外出することはできますが、
その際は18時までに寄宿舍にお戻りください。

通院、外出から18時までに寄宿舍に戻ることが難しい場合は、翌朝ご家庭からの登校をお願いしています。

また、単独通学の手続きが済んでいる舎生であっても、寄宿舍から直接通院するなどの場合は、必ず保護者の送迎をお願いします。



日 課

14:30	小学部下校	●
14:50	中学部下校	
15:00	高等部下校	
	おやつ	
	入浴	
	自由時間	
17:45	夕食	
18:45	入浴（自立）	
19:00	学習時間	
19:30	自由時間	
22:00	就寝	

6:30	起床	●
7:45	朝食	
8:50	高等部登校	
9:00	小・中学部登校	

施設設備



舎室



多目的室（共用）



食堂



浴室

新潟県立村上特別支援学校 寄宿舍

〒958-8677 新潟県村上市山居町2丁目16番29号

TEL 0254-52-1633 (寄宿舍)

0254-53-1415 (教務室)

FAX 0254-53-6769



このパンフレットは、
右のQRコードから いつでもご覧いただけます。

